

富山市の公共施設をめぐる 現状と課題について

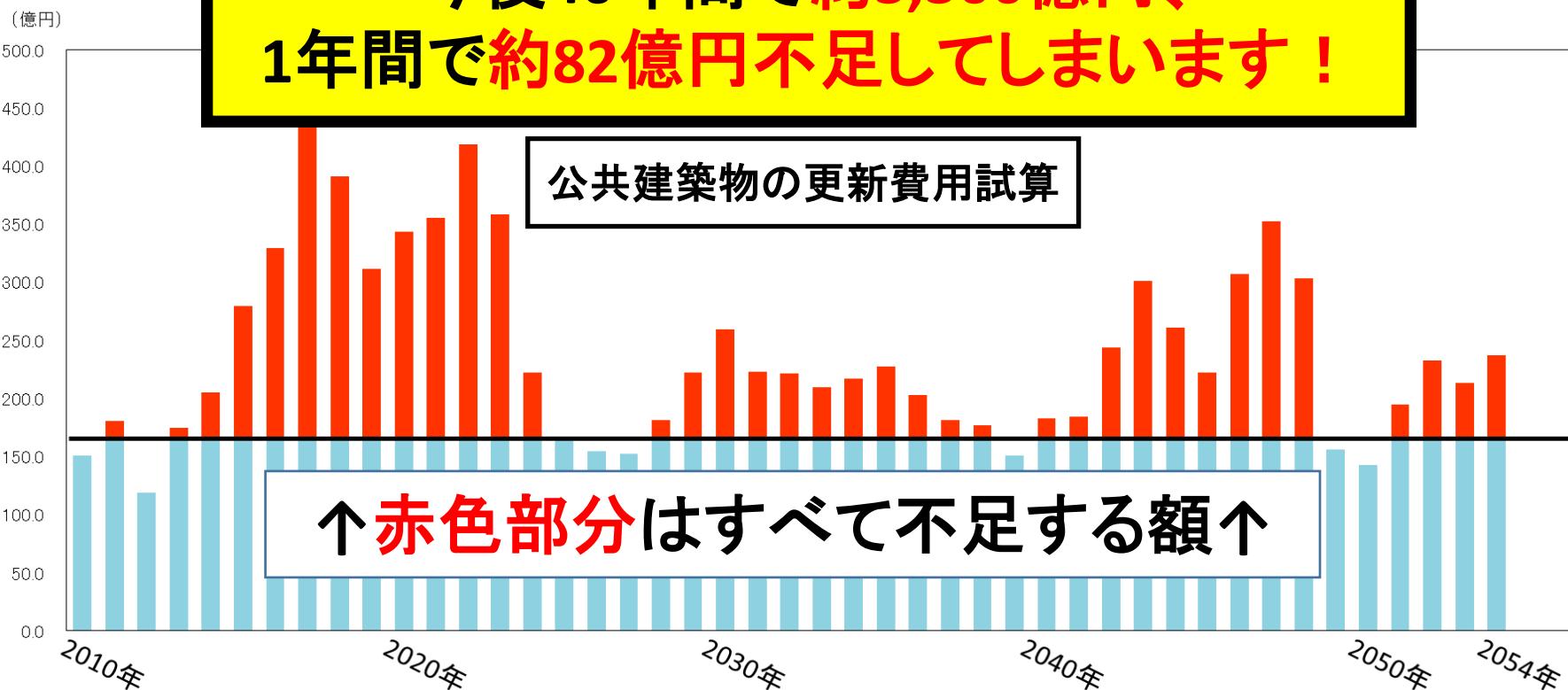


(c)TOYAMA CITY/DLE

課題1 施設の老朽化が進んでいる！

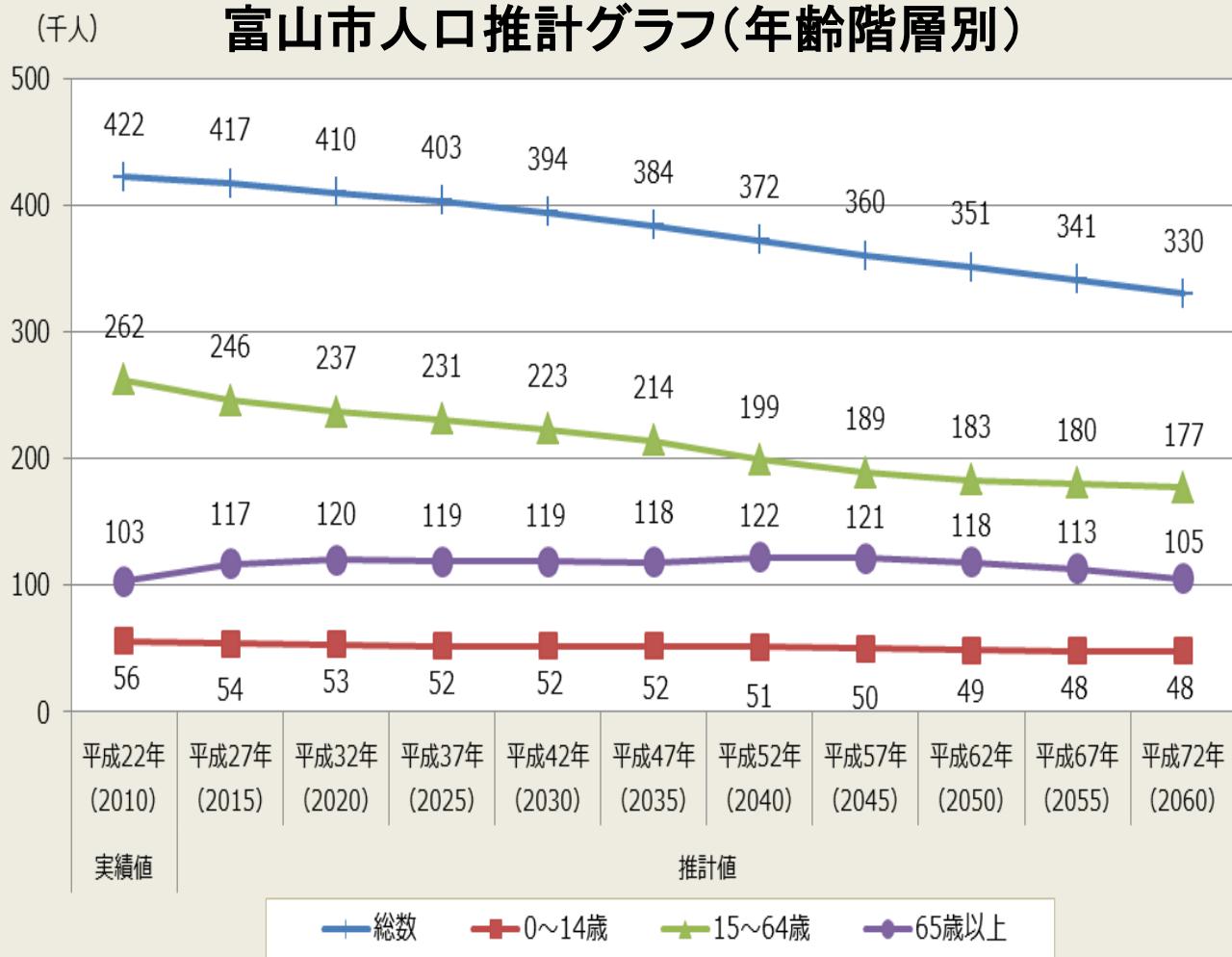
今ある施設を維持するだけでも、
今後40年間で約3,300億円、
1年間で約82億円不足してしまいます！

公共建築物の更新費用試算



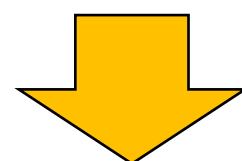
課題2 少子高齢化と人口減少で財政が厳しくなる！

富山市人口推計グラフ(年齢階層別)



40年後には？

大山地域
2015 (H27年)
10,300人

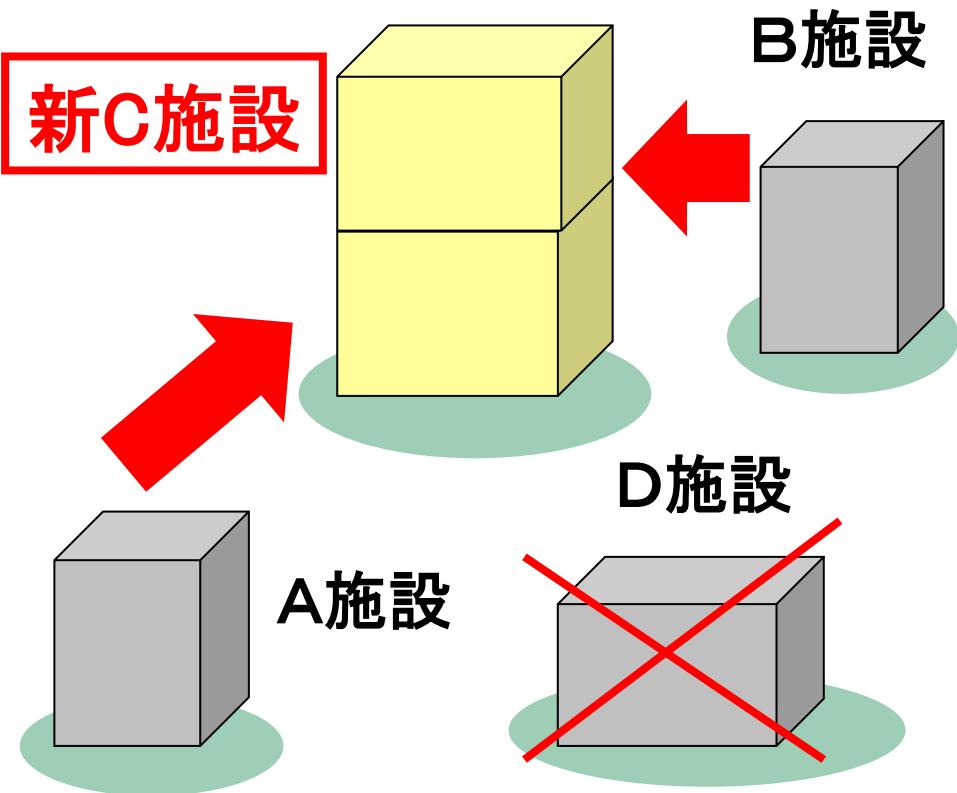


約6割減

2060 (H72年)
4,230人

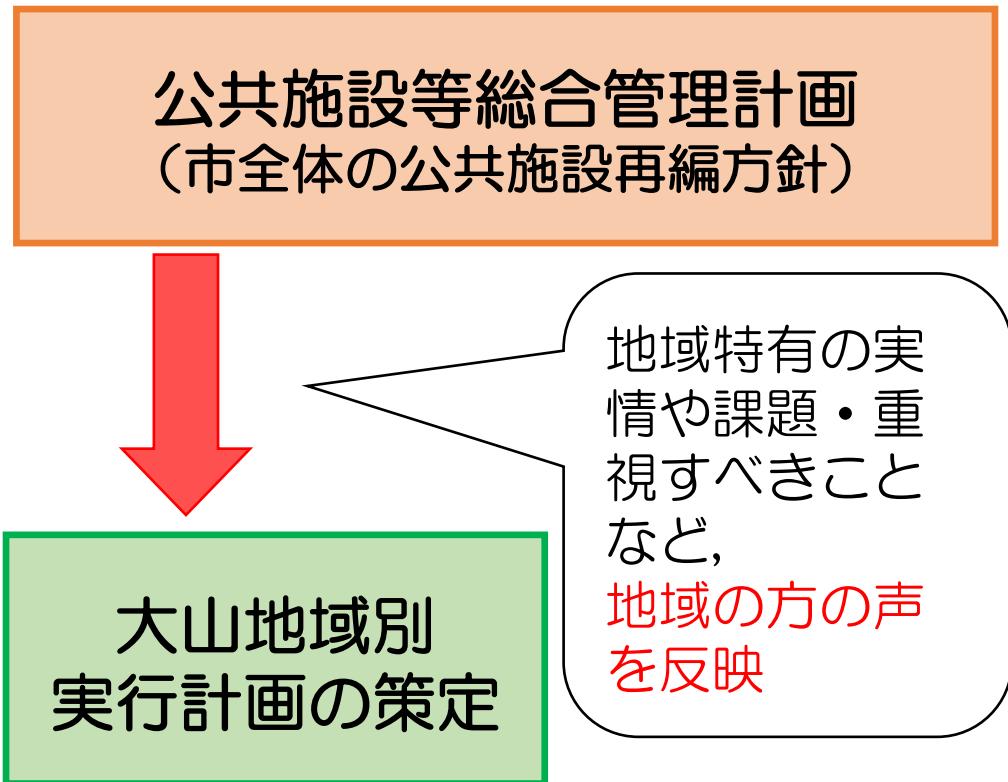
地域の皆様と、将来の公共施設の配置や あり方について考えています。

■リーディングプロジェクト



建替えが必要な「行政サービスセンター」や、廃止する「文化会館」などの施設を対象として、公共施設の適正配置に向け、マネジメント全体を円滑に進める上で核となり先導的な役割を果たす複合施設を整備するプロジェクトを考えています。

■地域別実行計画



14地域それぞれの地域生活圏域にある「地域・地区」を対象圏域とする施設について、住民の意見や地域の課題を踏まえ、地域の公共施設の再配置整備方針（案）を策定します。

■大山地域にお住まいの方をメンバーに迎え、ワークショップを進めています！



これまでのワークショップのご意見をもとに 大山地域の公共施設再編方針(案)をつきました!

(1)

拠点となる施設等(一部抜粋)

①地域の公共施設再編の 基本的考え方

大山地域においては、今後も地域全体の人口は大きく減少しつつ、西部の上滝地区、大庄地区に人口の集中が続く見通しです。

本地域での公共施設の配置についても、上滝地区・大庄地区に集中的に配置を行い、それ以外の地区は、防災安全性の確保や地域コミュニティの維持などに必要な最低限の機能を残していくことにします。

公共施設の配置や管理に関しても、これからは地域ごとにメリハリをつけるということを掲げています!



この部分は「リーディングプロジェクト」で整備する複合施設のことを述べています!



②優先的に取り組むべき施策

上滝地区の行政サービスセンター敷地、文化会館跡地のエリアにおいて、老朽化した公共施設の建替えを契機として、公共施設の複合化による集約を行います。

地域の方が便利に利用できる場を確保するとともに、多くの人が集まって新たな活動を創出し、地域の活力を上げていくことを目指していきます。

①地域コミュニティの維持

- ・一定の人口に応じ、集会施設など人の集まることのできる空間を地区ごとに確保する。
- ・建物の所有にはこだわらず、学校の余裕教室や空き家の活用など、空間の形態は柔軟に考える。

②地域の活性化

- ・複合施設にイベントや商業活動のできる場を整備することにより、地域を盛り上げていくことを目指す。

③文化の振興

- ・文化コンテンツを伝承・発展する場として、地域の中心に複合施設を整備する。
- ・歴史民俗資料館、竪穴住居展示館は、展示内容や活動は維持しつつ、複合化や移設を検討する。

④少子化対策

- ・子育て環境の充実を図る。子どもの数に応じて、施設統廃合を進め、機能が集約された場でサービスを提供する。
- ・複合施設の中に、子育て支援機能の導入を検討する。

⑤利便性の確保

- ・駐車場の確保、バスや鉄道などの公共交通機関により、アクセスのしやすさを確保する。
- ・上滝・大庄地区以外であっても、各地区の拠点となる施設については、バス等のアクセスが可能な配置とする。

⑥安全性の確保

- ・集会施設や学校、空家、その他の公共施設のうち、安全なものを避難場所として指定し、避難拠点を確保する。

⑦財源の確保

- ・利用ニーズが少なくなった施設の複合化や、建替え際の面積の縮小についてはやむを得ないこととする。
- ・今後は専用のハコモノにこだわらず、既存施設の積極利用や、長寿命化を図ることとする。
- ・管理職員が複合施設の中で横断的に働くことで、必要な職員数を減らしていくことや、再生可能エネルギーの利用も検討する。

大山地域の公共施設の再編方針を7つの視点で整理しています。

これまでのワークショップのご意見をもとに 行政サービスセンター周辺のリーディング プロジェクト案を3案つくりました！

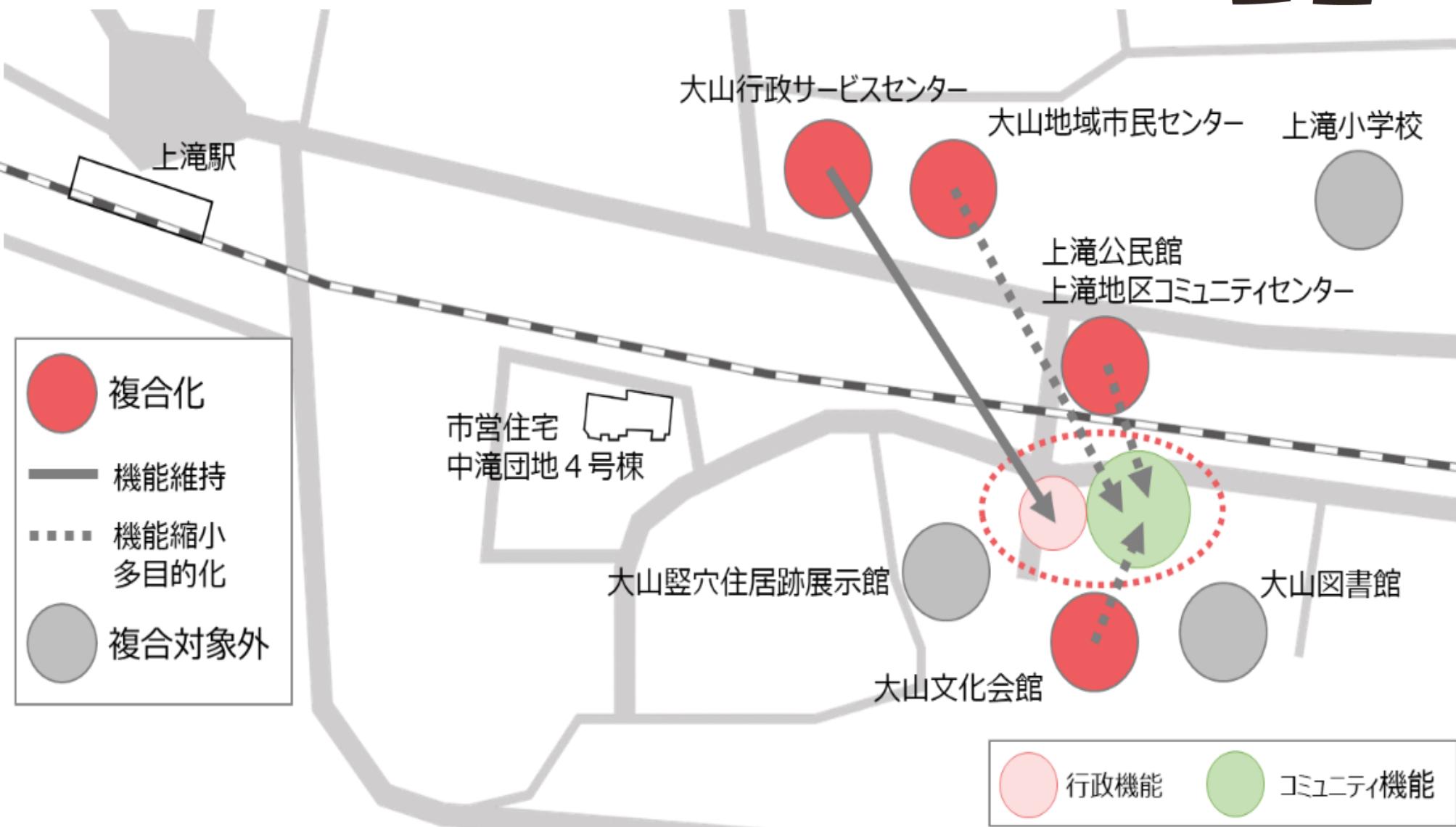
A 案

コミュニティ拠点づくり重視



【特徴】

- 行政機能とコミュニティ機能を複合化。
- 行政サービスセンターは、機能を維持するが規模は縮小。
- 多目的スペースを含む集会施設を集約。



メリット

- 集会室などコミュニティ機能を集約することで新たな賑わいが生まれる。
- 多目的スペースを用意することで様々な用途で利用することができる。

留意事項

- 現：大山文化会館にあるような、固定席のホールは設置しない。
- 図書館は既存の施設を活用する。

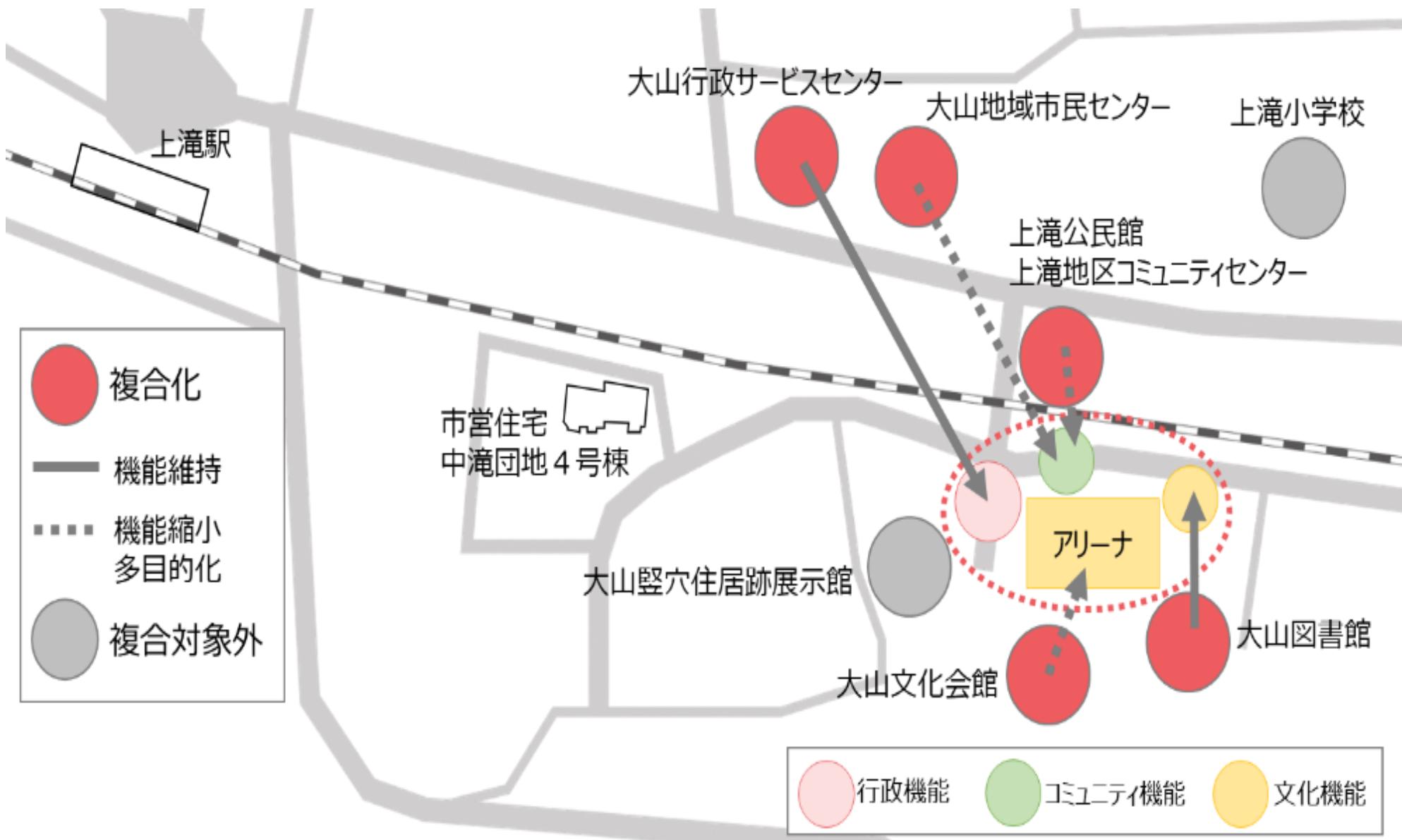
文化拠点づくり重視



B 案

【特徴】

- 集会施設は最低限の確保。
- 充実したアリーナタイプのホール機能を確保。
- 行政機能、コミュニティ機能、文化機能を複合化。
- 行政サービスセンターと図書館は、機能を維持するが規模は縮小。



メリット

- 様々な年代の方が利用する機能を複合化することで、にぎわいや他世代の交流が生まれる。

留意事項

- ホールを重視するため、集会機能及び図書館は必要最小限の機能、規模となる。

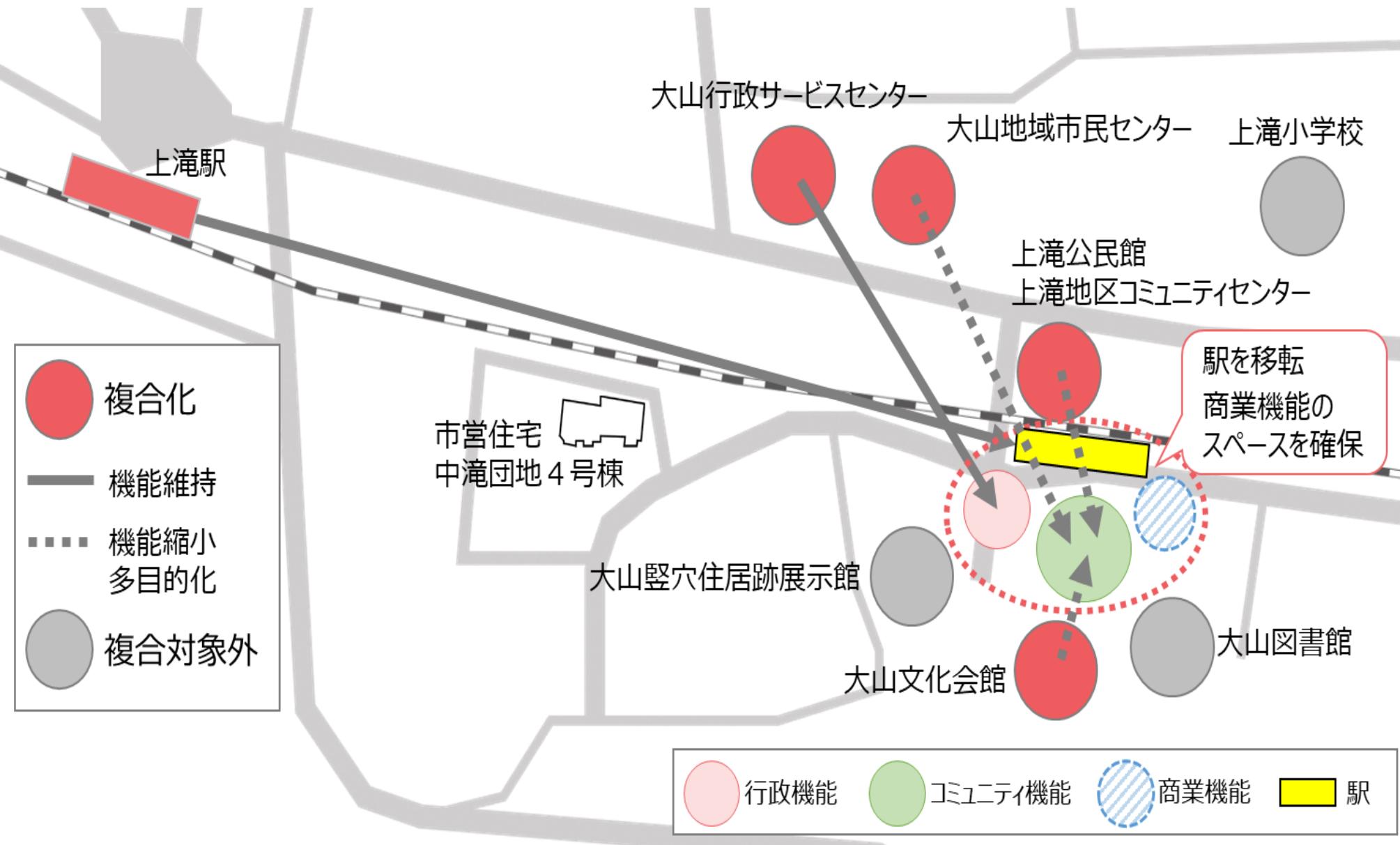
まちの活力を向上させる



C 案

【特徴】

- 行政機能、コミュニティ機能、商業機能、上滝駅を複合化。
- 行政サービスセンターは機能を維持するが、規模は縮小。
- 集会施設やホールは最低限確保する。



メリット

- 駅を複合化し、人の流れができることで、賑わいが生まれる。
- 商業機能が複合化されると、利便性が向上する。

留意事項

- 実現は民間事業者や鉄道会社の意向に左右される。
- 現：大山文化会館にあるような、固定席ホールは設置しない。
- 集会機能は必要最低限のものとなる。
- 図書館は既存施設を活用する。